
クロガノス

志木悠鬼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

クロガノス

【Nコード】

N4523G

【作者名】

志木悠鬼

【あらすじ】

「俺は生きる為に殺す」彼はそう言いながら殺していく。彼の名前はクロガノス。通称クロ。リアルとアンリアルの世界を行き来する彼らは、何を求め、何を失うのか。これはまごうことなき伝奇。そして一つの答え。貴方はたどり着けますか？この答えに。

序章（前書き）

この小説にはグロテスクな表現があります。
残酷な描写や、不愉快な表現がお嫌いな方は読まない方が良いでしょう。

序章

雨に打たれていた。まるで滝のような雨。

夜の摩天楼の狭間にすらも降り注ぐ雨粒は、私の汚れを綺麗に洗い流してくれるのだろうか？ いや、それは無理な話だろう。

何故なら、目の前に映るこの光景こそが私の汚れであり、洗い流し、消し去ることなんて出来るわけがないからだ。

――私は、目の前に映る光景に対してこう言う。

「あなたは不運なだけだった。好奇心で私に付いて来て、こんな場所にまで来て。……そう、あなたは交通事故にあったようなもの。だから私を恨まないで、恨むなら自分の運の無さを恨みなさい」

目の前に居るあなたはうんともすんとも言わない。

いや、発せない。

言葉を発する口が無いから。

それどころか、私の言葉に対してリアクションも起こさない。

いや、起こせない。

聞く耳も、見る瞳も、動かす体も無いから。

「……あなたは私に会った。そしてこんな状態になってしまった。

その一連の責任はあなたにもあるけれど、私にもある。だから……ごめんなさい」

目の前に映る紅の光景は、夜の月に照らされてまがまがしい光を放っていた。

肉塊と共に。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4523g/>

クロガノス

2010年12月12日03時27分発行